資料３

国分寺市ビジョン実行計画の施策立案について

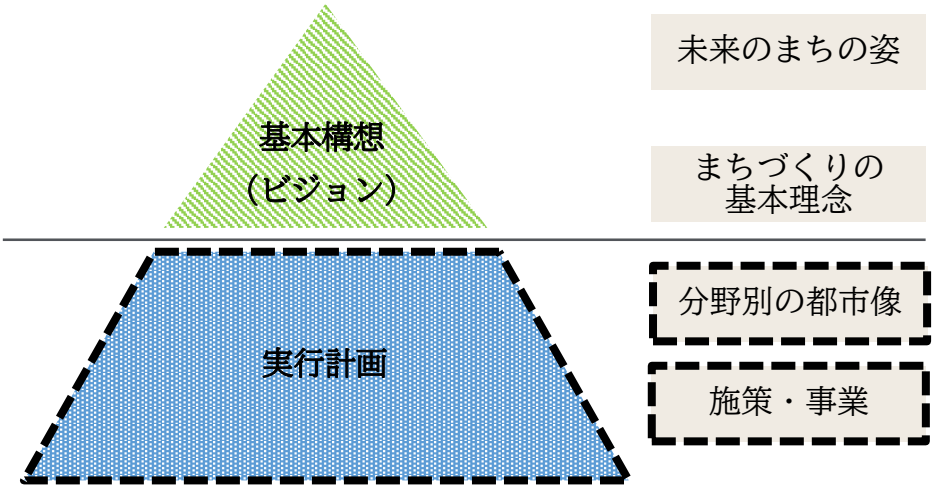
１　実行計画の位置付け

「第２次国分寺市総合ビジョン」（以下「第２次総合ビジョン」という。）は、市と市民と事業者等がともにまちづくりを進める上での共通の目標である基本構想の「国分寺市ビジョン」（以下「ビジョン」という。）と、「ビジョン」を実現するための具体的な取組等を定めた「国分寺市ビジョン実行計画」（以下「実行計画」という。）で構成されています。

これまで基本構想に位置付けられていた「分野別の都市像」については、社会環境の急速な変化等に対応するため、「第２次総合ビジョン」から「実行計画」に移すこととし、今般、市民参加等を踏まえた原案を取りまとめました。

今後、「実行計画」の策定に向け、施策・事業の検討を行います。

第２次総合ビジョンの構成



２　施策立案

「実行計画」の策定に当たっては、ＤＸの推進、ゼロカーボン実現に向けた取組の進展といった社会環境の変化を踏まえつつ、「分野別の都市像」及び施策体系（原案）を基に施策立案を実施します。検討項目は次のとおりです。

＜施策＞

項目	内容
①施策名	「ビジョン」を実現するための施策を記載。※現行の項目名から「○○な△△を◆◆する」等の内容を記載する形式に変更
②目指す姿	８年後の各施策の目標を記載
③まちづくりの指標	目指す姿の達成状況を定量的・定性的に測るための代表的な指標を設定。目標値は令和10年度（新たな「実行計画」の最終年度）の数値を記載
④施策をとりまく現状と課題	各施策に関する社会の現状と今までの取組、目指す姿を実現するために解決すべき主要な課題を記載
⑤施策の展開	課題を解決し、目指す姿を実現するための取組方針を記載

＜中心事業＞

項目	内容
⑥事業名	各施策の目指す姿の実現を図る上で影響度の高い事業を記載
⑦事業目標	目指す姿の実現に向けた中心事業の目標を記載
⑧数値目標	事業目標の達成状況を定量的・定性的に測るための代表的な指標を設定
⑨事業内容	中心事業の内容を記載

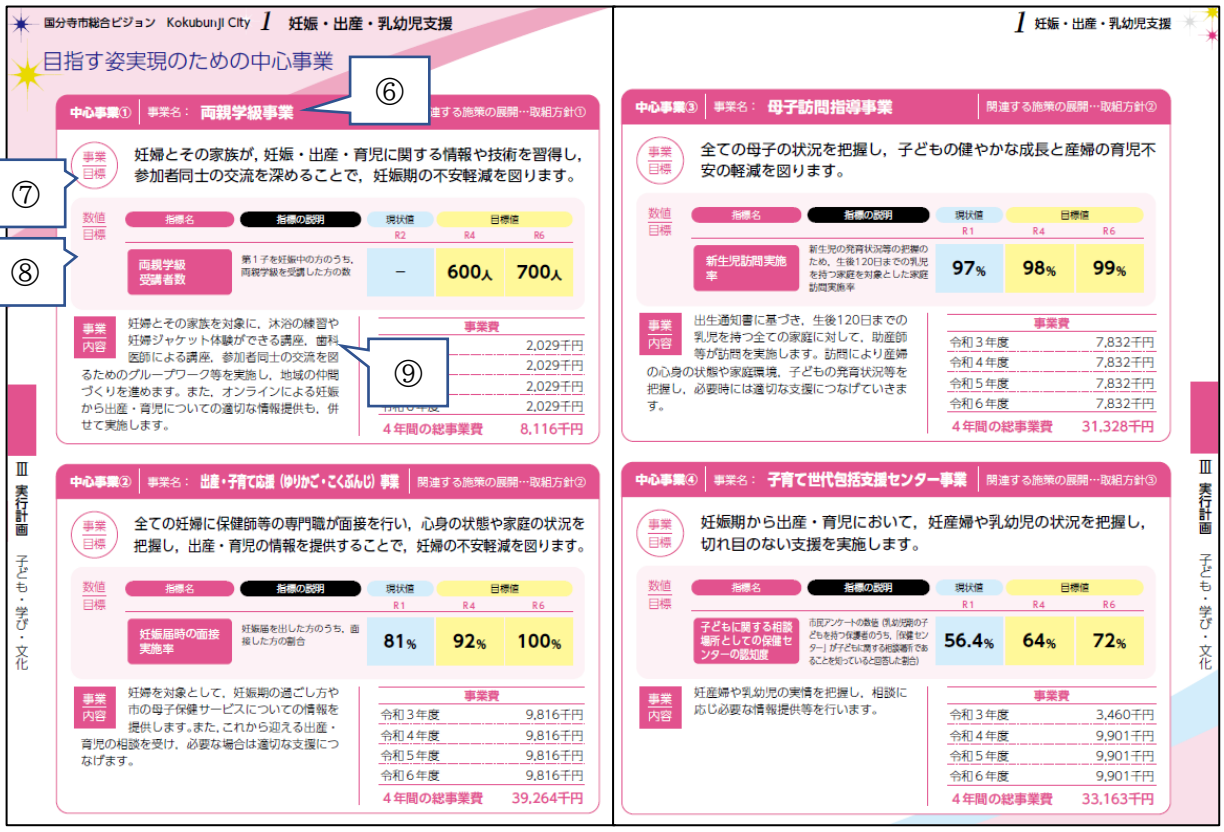
３　ＳＤＧｓの位置付けの整理

現行の「国分寺市ビジョン後期実行計画」において、各施策の取組方針とＳＤＧｓの17のゴールを関連付けていることを踏まえ、新たな「実行計画」においても、ＳＤＧｓの達成を念頭に置いた上で、関係性を次のとおり整理します。

（１）施策の検討に当たっては、「施策の展開（取組方針）」に関係するＳＤＧｓの169のターゲットを考慮の上、企画・立案を行う。
（２）「実行計画」の策定に当たっては、ＳＤＧｓとの関連を市民にとって分かりやすく整理するため、17のゴールを用いて記載する。

【施策ページ　イメージ図「国分寺市ビジョン後期実行計画」】

【中心事業ページ　イメージ図「国分寺市ビジョン後期実行計画」】



４　今後のスケジュール

時期	項目
令和６年８月～	・施策立案シートの作成 ・施策立案シートを基にした各課ヒアリング ・「実行計画」（素案）の作成
令和６年９月	・基本構想の議案を上程／「実行計画」（素案）議会報告
令和６年11月	・第２次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会開催
令和６年12月	・「実行計画」（原案）の議会報告
令和７年３月	・「実行計画」の決定